

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【公開番号】特開2011-31560(P2011-31560A)

【公開日】平成23年2月17日(2011.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-007

【出願番号】特願2009-181965(P2009-181965)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/52 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

H 0 4 N 1/23 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/00 A

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

H 0 4 N 1/23 1 0 1 C

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月30日(2012.7.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

すなわち、複数の記録素子を備えた記録ヘッドが記録媒体上の同一領域に対して複数回の主走査を行うことによって画像を形成する画像形成装置であって、

多値の画像データを入力する画像データ入力手段と、

前記画像データの明度に応じて、前記記録媒体上で該画像データに対応する領域を形成するための主走査の回数であるパス数を設定するパス数設定手段と、

前記記録ヘッドに、前記画像データに対応する前記記録媒体上の領域に対して前記パス数の主走査を行わせる制御手段と

を有することを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の記録素子を備えた記録ヘッドが記録媒体上の同一領域に対して複数回の主走査を行うことによって画像を形成する画像形成装置であって、

多値の画像データを入力する画像データ入力手段と、

前記画像データの明度に応じて、前記記録媒体上で該画像データに対応する領域を形成するための主走査の回数であるパス数を設定するパス数設定手段と、

前記記録ヘッドに、前記画像データに対応する前記記録媒体上の領域に対して前記パス数の主走査を行わせる制御手段と

を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

更に、

前記記録ヘッドの主走査ごとに、該主走査で画像形成を行うために前記複数の記録素子のそれぞれに割り当てる記録データを、前記バス数に応じて設定する記録データ設定手段と、

前記記録データ設定手段で設定された記録データに対し、N値化処理（Nは2以上の整数）を施して形成対象となるドットパターンを作成するN値化手段とを有し、

前記制御手段は、前記記録ヘッドに、前記画像データに対応する前記記録媒体上の領域に対して前記バス数の主走査を、該主走査について前記N値化手段により得られる記録データに基づいて行わせることを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記バス数設定手段は前記バス数として、前記画像データの明度が予め定められた中間明度域内にある場合には第1のバス数を設定し、前記画素が前記中間明度域外にある場合には前記第1のバス数よりも少ない第2のバス数を設定することを特徴とする請求項2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記中間明度域は、複数の明度からなる色票を前記第1のバス数で形成した際に測定される光沢度と、前記色票を前記第2のバス数で設定した際に測定される光沢度に基づいて設定されることを特徴とする請求項3に記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記記録データ設定手段は、前記バス数と、前記記録ヘッドにおける前記記録素子の位置に応じて予め定められた分割率に基づき、前記画像データに応じた記録量を分割することによって、前記記録素子ごとの記録データを設定することを特徴とする請求項4に記載の画像形成装置。

【請求項6】

前記分割率は前記第1のバス数に基づいて定められており、

前記記録データ設定手段は、前記バス数として前記第2のバス数が設定された場合に、前記分割率を該第2のバス数に基づくように変更することを特徴とする請求項5に記載の画像形成装置。

【請求項7】

前記記録データ設定手段は、前記記録媒体上の前記画像データに対応する領域に対する前記記録素子ごとの記録データの合計が、前記画像データに応じた記録量と等しくなるように、前記記録素子ごとの記録データを設定することを特徴とする請求項5または6に記載の画像形成装置。

【請求項8】

前記記録ヘッドは、顔料インクを吐出することを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項9】

複数の記録素子を備えた記録ヘッドが記録媒体上の同一領域に対して複数回の主走査を行うことによって画像を形成する画像形成装置の制御方法であって、

多値の画像データを入力する画像データ入力ステップと、

前記画像データの明度に応じて、前記記録媒体上で該画像データに対応する領域を形成するための主走査の回数であるバス数を設定するバス数設定ステップと、

前記記録ヘッドに、前記画像データに対応する前記記録媒体上の領域に対して前記バス数の主走査を行わせる制御ステップと

を有することを特徴とする画像形成装置の制御方法。

【請求項10】

コンピュータで実行されることにより、該コンピュータを請求項1乃至8のいずれか1項に記載の画像形成装置の各手段として機能させるためのコンピュータプログラム。